

秋田銀行

市民おもしろ塾に30万円 地域課題解決支援で寄付

秋田銀行が地域課題の解決に取り組む団体を支援する今年度の寄付先に、能代市の「市民おもしろ塾」（渡邊耕佑代表）が選定され、先月26日に市中央公民館で贈呈式が行われた。能代山本地区での選定は2例目。30万円が贈呈され、講座運営に必要な講師謝礼などに充てられる。

秋田銀行が地域課題の解決に取り組む団体を支援する今年度の寄付先に、能代市の「市民おもしろ塾」（渡邊耕佑代表）が選定され、先月26日に市中央公民館で贈呈式が行われた。能代山本地区での選定は2例目。30万円が贈呈され、講座運営に必要な講師謝礼などに充てられる。



目録を手にする渡邊代表（左）と三浦専務

理由を述べた。シニア世代が学び続け、地域で活躍する社会づくりを目指す同行の取り組みと理念が重なる点にも触れ「今後も活動を続け、地域の課題解決に貢献してほしい」と期待を寄せた。

塾は平成28年6月、古希（数え70歳）を迎えた仲間

6人が中心となって設立し、同年9月に第1回講座を開いた。健康・医療、介護、能代の歴史や文化、地域振興など幅広いテーマを扱い、先月で170回を迎えた。

渡邊代表は「活動を支える財政基盤への支援に心から感謝したい」と謝意を述べた。

「70歳から80歳までは現役世代という意識で学びと交流を続けることが健康や生きがいにつながる」と活動の意義を強調。「おもしろ塾はこれまで生きてきた集大成。生きてきた証しが込められている。これからも続けていきたい」と今後の継続に意欲を示した。

秋田銀行が能代の「市民おもしろ塾」に寄付

2026年（令和8年）3月6日 金曜日

秋 田 さ き が け



毎月開いている団体「市民おもしろ塾」に30万円を寄付した。

贈呈式は2月26日に市中央公民館で行い、おもしろ塾代表の渡邊耕佑さん（写真左）が秋田銀の三浦力・取締役専務執行役員（同右）から目録を受け取った。渡邊さんは「講演会の運営に役立て、能代の歴史や文化の保存にも取り組

みたい」と述べた。

寄付は2019年度から行っており、25年度は市民おもしろ塾のほか、子ども食堂を運営する美郷町のNPO法人・ウォランクス、買い物支援や見守り活動に取り組む大仙市のNPO法人・南外さいかい市にそれぞれ30万円を贈る。